

城山高校

自ら考え、動く部活
「ふくしデザイン部」

城山高校に「ふくしデザイン部」という名前の部活があります。福祉をどのようにデザインしているのでしょうか。訪ねてみました。

担当／広報編集委員 島崎則彦

駅前びかびかに

朝7時40分、ごめん・なはり線あかおか駅前に13人の生徒が集まりました。準備した道具で早速駅前広場を清掃。全員で半時間ほど、隅から隅まで掃き集めると、吸い殻や紙くずなどが小袋一つに。「きれいになって気持ちいい」「やりがいがある」。すでに強い日差しが照り付ける中で、元気な答えが返ってきます。

月に一度、駅から学校までの通路の清掃活動。「皆がこままでやるとは思わなかった」と、近所の人も感心しているほどです。

今では部員15人

ふくしデザイン部は、一昨年同好会として活動が始まりました。去年、正式な部に昇格し、自分たちのま

ちを磨き上げています。地域で開かれる海岸や河川清掃などにも参加しますが、それだけじゃない。月一回の定期清掃も、自分たちで決めた計画。さらに学校の行き帰りに見つけた「あそこは清掃しなかつた」という場所があると、部内で計画が立て

られて、随時「部活」が行われています。

スポーツでもない、レクリエーションの要素も少ない地味な活動ですが、部員は少しずつ増えていきます。最近2人が参加し、現在15人。「兄に勧められた」「友達に誘われた」ときつかけはさまざまです。「卒業するまで、この部で」と力強く話す1年生もいました。

デザインの意味

部の名前は「一人ひとりが幸せな生活を送るために何をしなければならぬか、自分たちに何ができるかを総合的に判断し、活動をデザインしていくことを目指す」意味で付けられました。清掃だけでなく、福祉施設などを訪問し生徒たちの発想で活動の場を広げていく展望があるそうです。

「やらされるのではなく、自ら考え、行動する」。部活の中で生徒たちは、生きていくために「一番大切な力を学んでいます。それが「心をデザインする、形づくっていく」という意味でもあるのでしょつ。



編集後記

今年度、広報の編集委員をしていただく皆さんです。市内各地に取材に伺いますので、よろしくお願ひします。



▼ボイ捨てされずに、また取り出して見てもらえる広報づくりを。
(島崎則彦 中央)

▼香南市の『今』をお伝えします！今年は楽しいスポーツが増える予定！
(田中たい子 左上)

▼「広報に載つちよたね！」こんな会話と笑顔が市内のあちらこちらで広がるよう、みなさんの「今」をキャッチしに出かけます！
(久保きみ 右上)

▼世代を超えたとしておきの話題を見つけたら伝えたい。
(島村立法 右下)

▼香南市の宝探しをしています。おもしろい宝を見つけたらお知らせします。お楽しみに。
(相原秀夫 左下)

《広報へのメール》
kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp

